

協議事項(2)

令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

1 主旨

ふれあいバス印旛・本埜支所ルートにつきましては、交通不便地域である荒野・竜腹寺地区を経由することにより、国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金の交付を受けて運行しており、令和3年度実績として5,667,000円の補助金が交付されております。

今回の協議事項につきましては、令和4年度(この補助金上の令和4年度は、令和3年10月1日～令和4年9月30日の1年間)の事業が終了したため、事業評価を行い、その評価結果を、関東運輸局へ提出することとなっていることから、本交通会議において、提出内容の承認をいただくものです。この結果をもとに、補助金の交付が決定されます。

2 関東運輸局への提出書類

- ・【別添1】地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)
- ・【別添1-2】事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について
- ・【別添2】事後評価ポンチ絵
- ・添付資料
 - 印西市バスMAP
 - 印旛・本埜支所ルート運行系統図
 - 印旛・本埜支所ルート実績データ(利用者数、収支等)

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 印西市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

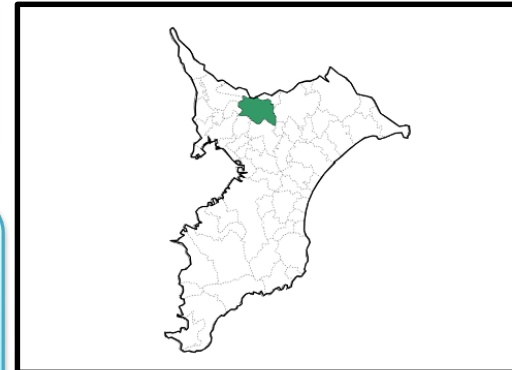
①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
ちばレインボーバス株式会社	<p>コミュニティバス(ふれあいバス) 運行系統: 印旛・本埜支所ルート (印旛支所～竜腹寺～本埜支所～印西牧の原駅～本埜支所～竜腹寺～印旛支所) 31.8km 運行日: 毎日運行 運行時間帯: 7時25分～18時27分 運行本数: 7便/日(循環型) 運行車両: 1台 運賃: 大人(中学生以上)100円 ※小学生・乳幼児・障害者手帳保持者及び介助者1人まで無料</p>	<p>前回の事業評価では、目標値である利用者数80人/日が達成されなかった。目標利用者数を下回った要因としては、認知度、令和元年度のルート延伸に伴う減便、新型コロナウイルス感染症の影響等が考えられる。今後、様々な利用促進策を検討、実施し、利用者の確保を図る。</p>	<p>A 印旛支所や日本医科大学千葉北総病院が立地する印旛日本医大駅エリアと、住宅が集積し大規模な商業施設が立地する印西牧の原駅周辺エリアを結び、荒野・竜腹寺地区や本埜支所を経由することにより、交通不便地域の解消を図ることを目的に、計画どおり実施された。</p>	<p>B 目標: 一便あたりの平均利用者数13人 令和3年3月に策定した印西市地域公共交通計画に記載されている目標値「13.0人/便」をもとに設定した。 結果: 一便あたりの平均利用者数8.3人 1日当たり利用者数については、前年度と比較すると7.4人/1便から8.3人/1便と、約10%の増加となっているものの、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年度の10.4人と比較すると、20%の減少となっており、交通不便地域の荒野、竜腹寺地区の利用者も、前年比で16%減となっている。しかし、令和元年10月に新設した本埜支所停留所の利用状況を見ると、利用者数が20%増となっており、周辺地域の利用が喚起されていると考えられる。</p>	<p>・目標利用者数を下回った要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響等が考えられる。今後、新型コロナウイルス感染症の予防策を講じながら、様々な利用促進策を検討、実施し、利用者の確保を図る必要がある。 ・特に交通不便地域の荒野、竜腹寺地区や、本埜支所からの利用者(東ルート、六合路線、スワン号との相互乗換利用者)を増加させ、少しでも路線の採算性を上げ、持続可能な路線となるよう、努める必要がある。</p>

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	印西市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>印西市は、平成22年3月の印旛村及び本埜村との合併により市域が広がり、市内のバス交通は、その合併前の公共交通を引き継いだところに、新たなコミュニティバス路線や乗合タクシーを増設するような形で、現在の公共交通網が形成されている。そのため、市域全体を見つめ直した、効率的・効果的な公共交通網の形成を目指すため、地域公共交通計画の策定作業を進めているところである。</p> <p>当該交通不便地域である荒野・竜腹寺地区については、地域の高齢化が進んでおり、自家用車を持たない高齢者等の移動は困難な状況である。今後は、公共交通の必要性が一層高まるものと考えられ、地域公共交通計画の策定と併せて、地域住民が利用しやすく、財政負担の少ない、持続可能なバス交通の構築を目指す必要があるため、生活交通確保維持改善計画を策定したものである。</p>

令和4年度 印西市地域公共交通会議 (千葉県印西市) (地域内フィーダー系統確保維持事業)



地域の公共交通等の現況

印西市の公共交通は、市の中央部を北総線・成田スカイアクセスが、市の北部をJR成田線が、それぞれ東西に走り、東京都心や羽田空港、成田空港などに連絡し、広域的なアクセス機能を果たしている。また、当該路線と接続する路線バス16路線、コミュニティバス6路線などによって、市内公共交通網が形成されている。こうした中で、市内には「交通不便地域」が点在しており、その解消に向けた路線バスや乗合タクシーによる実証運行も現在行っている。当該補助対象路線を運行している、荒野・竜腹寺地区についても交通不便地域であり、ふれあいバス印旛・本埜支所ルートの運行により、その解消を図っているところである。

交通計画の基本方針／地域公共交通に関する施策・取組の概要

バス交通においては、民間路線バスとコミュニティバス「ふれあいバス」の路線に重複区間が多いこと、運賃が不均一なこと、バス運行の速達性や利便性を確保していくことなど、幅広い課題を抱えている状況である。これらの課題を解決し、地域公共交通の効率化と充実を図り、市民の利便性確保に向けた市域全体の公共交通網の見直しを検討していくことが必要であるため、「誰もが公共交通ネットワークを利用して、便利で気軽に移動ができるまち」を目的に、効率的な公共交通網の形成を目標とし、地域公共交通計画の策定を行った。

交通施策として実施した事業の全体像の概要

- ・コミュニティバス「ふれあいバス」の運行を、ちばレインボーバス(株)に委託している。東ルート、中ルート、西ルート、南ルート、布佐ルート、印旛・本埜支所ルートの全6ルートを運行。
- ・路線バス運行対策費補助金として、市内の主要なバス路線（六合路線、宗像路線、印旛学園線、小林線）に対して、補助金を交付。
- ・旧本埜第二小学校周辺地域には、乗合タクシー「スワン号」の実証運行を、師戸地区には、路線バス「宗像路線」の新ルートの実証運行を、それぞれ実施している。

補助対象事業の概要

公共交通不便地域（荒野・竜腹寺・本埜支所方面）と需要が見込める地域（若萩、舞姫、牧の原）を経由する印旛・本埜支所ルートを運行する。これにより、印旛支所や日本医科大学千葉北総病院が立地する印旛日本医大駅エリアと、住宅が集積し大規模な商業施設が立地する印西牧の原駅周辺エリアを結び、荒野・竜腹寺地区や本埜支所を経由することにより、公共交通不便地域の解消を図る。

【コミュニティバス「ふれあいバス」】

事業者名:ちばレインボーバス株式会社

運行系統:印旛・本埜支所ルート(印旛支所～竜腹寺～本埜支所～印西牧の原駅～本埜支所～竜腹寺～印旛支所 31.8km)

運行日:毎日運行

運行時間帯:7時25分～18時27分

運行本数:7便/日

運行車両:1台

運賃:大人(中学生以上)100円 ※小学生・乳幼児・障害者手帳保持者及び介助者1人まで無料

面積	123.8 km ²
人口 (R4.4.1時点)	108,141人
15歳未満	18,018人
65歳以上	25,493人
高齢化率	23.6%
世帯数	43,620 世帯

交通計画の策定年月日

令和3年3月

協議会開催状況

(令和4事業年度に係るもの)

・第1回(令和3年6月25日)
R4事業年度フィーダー確保維持計画を協議

・第2回(令和4年11月15日)
事業評価について

前回の事業評価結果の反映状況

前回の事業評価では、目標値である利用者数80人/日が達成されなかった。目標利用者数を下回った要因としては、認知度、令和元年度のルート延伸に伴う減便、新型コロナウイルス感染症の影響等が考えられる。今後、様々な利用促進策を検討、実施し、利用者の確保を図る。

定量的な目標・効果

【評価指標・目標値】

一便あたりの平均利用者数 13人

【当該指標・目標値を設定した理由】

令和3年3月に策定した印西市地域公共交通計画に記載されている目標値「13.0人/便」をもとに設定した。

【効果】

当該路線を維持することにより、交通不便地域(荒野・竜腹寺地区や本埜支所周辺の地域)の移動手段が確保され、移動が困難な高齢者等の利便性が向上する。

目標の達成状況・事業によって得られた効果

【指標①】実績:一便あたりの平均利用者数 8.3人

【目標を達成できなかった要因(分析)】

1日当たり利用者数については、前年度と比較すると7.4/1便から8.3人/1便と、約10%の増加となっているものの、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年度の10.4人と比較すると、20%の減少となっており、交通不便地域の荒野、竜腹寺地区の利用者も、前年比で16%減となっている。しかし、令和元年10月に新設した本埜支所停留所の利用状況を見ると、利用者数20%増となっており、周辺地域の利用が喚起されていると考えられる。

【事業によって得られた効果】

公共交通不便地域(荒野・竜腹寺や本埜支所周辺地域)の解消が図れた。

アピールポイント

・運行バス車内の消毒等、新型コロナウイルスの予防策を徹底し運行を行い、市民の足の確保に努めた。

今後の改善点

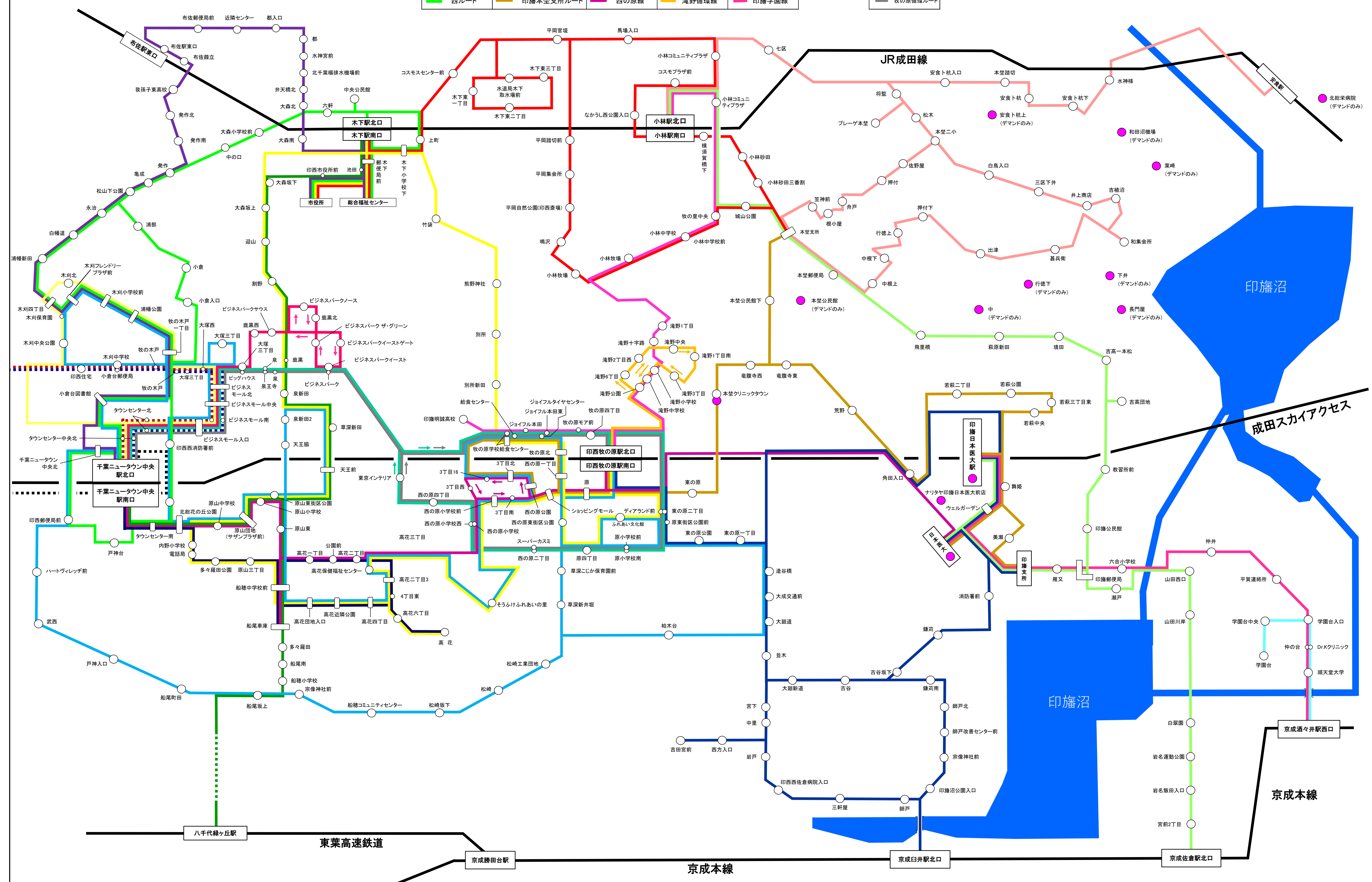
- ・目標利用者数を下回った要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響等が考えられる。今後、新型コロナウイルス感染症の予防策を講じながら、様々な利用促進策を検討、実施し、利用者の確保を図る必要がある。
- ・特に交通不便地域の荒野、竜腹寺地区や、本埜支所からの利用者(東ルート、六合路線、スワン号との相互乗換利用者)を増加させ、少しでも路線の採算性を上げ、持続可能な路線となるよう、地域公共交通会議において、市民代表委員等から意見をいただきながら、利便性向上策を検討する必要がある。

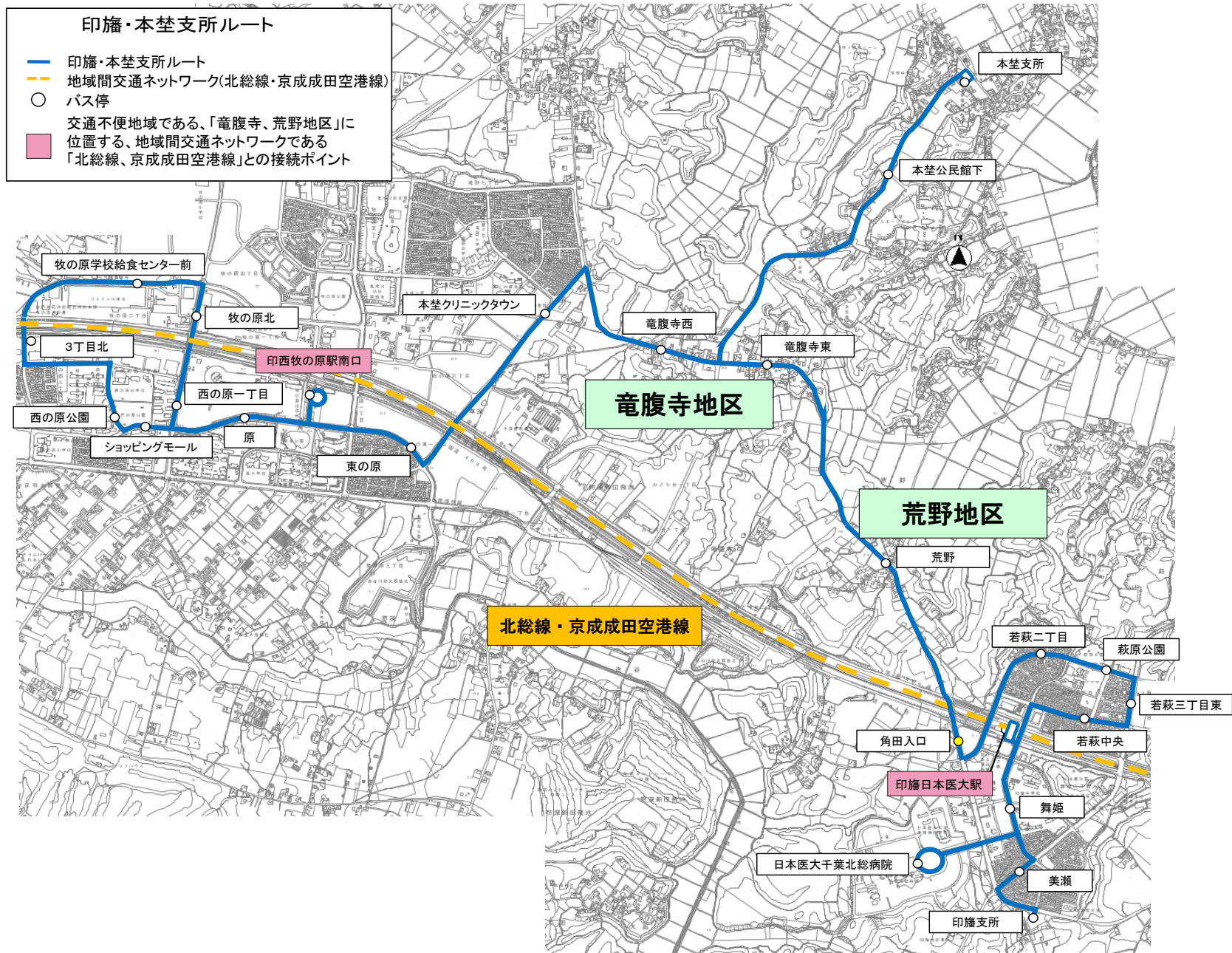
印西バスMAP

2022年4月現在
市内路線図(系統図)

印西市コミュニティバス「ふれあいバス」		ちばレインボーバス			鎌ヶ谷観光バス	なの花交通バス	大成交通	ちばグリーンバス	都市交通
東ルート	南ルート	神崎線	北口循環線	北総循環線	鹿黒循環線	直行ルート	六合路線	宗像路線	順大線
中ルート	布佐ルート	高花線	小林線	西の外循環線		北環状線ルート			スワン号 (集合タクシー)
西ルート	印旛本笠支所ルート	西の原線	滝野循環線	印旛学園線		牧の原循環ルート			

凡例





印旛・本埜支所ルート実績データ

年月	運行日数	運行経費	運賃収入	利用者数	1日あたり	1便あたり
R3.10	31	1,857,551	66,360	1,577	50.87	7.3
R3.11	30	1,797,630	73,310	1,621	54.03	7.7
R3.12	31	1,857,551	68,550	1,637	52.81	7.5
R4.1	31	1,857,551	65,000	1,456	46.97	6.7
R4.2	28	1,677,788	60,340	1,359	48.54	6.9
R4.3	31	1,857,551	62,770	1,602	51.68	7.4
R4.4	30	1,585,710	76,800	1,931	64.37	9.2
R4.5	31	1,638,567	73,900	2,099	67.71	9.7
R4.6	30	1,585,710	74,900	2,195	73.17	10.5
R4.7	31	1,638,567	85,510	2,011	64.87	9.3
R4.8	31	1,638,567	66,870	1,799	58.03	8.3
R4.9	30	1,585,710	77,600	1,867	62.23	8.9
計	365	20,578,453	851,910	21,154	57.94	8.3

荒野、竜腹寺東、竜腹寺西の乗降者数

年月	荒野	竜腹寺東	竜腹寺西	月計
R3.10	7	13	1	21
R3.11	36	10	2	48
R3.12	13	10	17	40
R4.1	50	3	6	59
R4.2	6	4	20	30
R4.3	16	4	3	23
R4.4	16	7	12	35
R4.5	10	13	7	30
R4.6	19	13	2	34
R4.7	6	13	6	25
R4.8	6	12	4	22
R4.9	12	12	15	39
計	197	114	95	406

年月	荒野	竜腹寺東	竜腹寺西	月計
R2.10	10	0	8	18
R2.11	18	2	10	30
R2.12	0	1	6	7
R3.1	10	7	4	21
R3.2	35	2	10	47
R3.3	37	1	9	47
R3.4	17	2	16	35
R3.5	15	7	5	27
R3.6	21	2	8	31
R3.7	41	16	9	66
R3.8	76	14	6	96
R3.9	26	21	14	61
計	306	75	105	486

本埜支所の乗降者数

R3	本埜支所
R3.10	161
R3.11	192
R3.12	166
R4.1	161
R4.2	138
R4.3	107
R4.4	149
R4.5	146
R4.6	153
R4.7	152
R4.8	131
R4.9	188
計	1,844

R2	本埜支所
R2.10	89
R2.11	93
R2.12	96
R3.1	83
R3.2	99
R3.3	124
R3.4	149
R3.5	133
R3.6	135
R3.7	193
R3.8	123
R3.9	164
計	1,481